

資料 1

第 8 回多治見市第 7 次総合計画策定市民委員会 会議録	
日 時	平成 27 年 7 月 21 日（火）午後 6 時 00 分～午後 8 時 10 分
会 場	多治見市役所駅北庁舎 4 階災害対策本部室
出席委員	古池嘉和委員（会長）、伊藤浜三委員、宇佐見信一委員、奥村崇仁委員、小池雅子委員、竹本幸二委員、堀尾憲慈委員、前田市朗委員、宮村登美子委員、隈元智子委員、若尾由美江委員 (委員 15 名中 11 名出席)
欠席委員	木下貴子委員（副会長）、飯野真理子委員、山田輝幸委員、吉田有記委員
事務局	水野企画部長、桜井企画防災課長、岩島課長代理、長谷川課長代理、水野総括主査、山内総括主査、御前主査、林主査
傍聴人	2 名
会議録要旨	
1	開会あいさつ（古池会長あいさつ）
2	議題（1）：第 7 回市民委員会会議録（案）について 事務局 資料 1 「第 7 回市民委員会会議録」について事務局から説明 会長 修正すべき点等あれば指摘を求める。 《なし》 会長 第 7 回市民委員会会議録とする。
	議題（2）：基本計画（素案）について 政策の柱 ①安心して子育て・子育てするまちづくり 事務局 基本計画（素案）政策の柱①について、資料 3、4 を用い事務局から説明 委員 子どもの権利はどこにあるか。 事務局 人権施策はまとめて⑤市民が互いに助け合う学び合うまちづくりにある。 委員 施策 結婚・妊娠・出産への支援 1 結婚を支援するため、出会いの場や交流機会を提供します 交流機会の提供は、行政が行う事業なのか。また、行政が行う結婚支援は、結婚お祝い金の方がいいのではないか。 事務局 結婚したくてもできない人への支援だけでなく、結婚の意義やコミュニケーションの取り方などを市民の協力を得ながら行う予定である。 委員 その内容であれば「結婚相談支援業務」が適切ではないか。 事務局 人口減少への対策として、相談事業だけでは限界があり、モーニング婚

活など様々な事業を考えているため、それがわかる表現としている。

結婚支援に肯定的な議会の一般質問があり、行政としての結婚支援も必要と考えている。現段階では、結婚お祝い金は考えていない。

会長 結婚相談業務は継続するのか。

事務局 結婚相談業務は継続する。平成 26 年度の成立実績は、6 組である。

委員 身近に結婚したいが機会がない人がいる。また、自分からなかなか行動に移せない人もいる。人口減少対策として、消極的な人でも結婚を希望する人を支援するような事業を市が行う必要があるのではないかと。

また、職場などで話題になる家族の話は否定的なものが大半ではないか。それが結婚を消極的にさせているのではないかと。市が結婚に対し良いイメージを持つような取組をしてはどうか。

委員 結婚支援は行政がやるべきではないと考える。

ただし、人口減少対策として必要とも考えるため、NPOなどを支援して結婚支援をする方法があるのではないかと。

委員 結婚・出産は個人的なことなので、行政が強制すべきことではない。

基本計画事業名を「不妊に悩む人への支援」と「結婚の支援」を比較すると、結婚しないことはいけないことのように感じる。

会長 多様な考え方を尊重しなければならないので、「出会いを求める人のため」としてはどうか。

事務局 「結婚を望む人のため、」と改める。

委員 基本計画事業に順番は意味があるのか。結婚支援が施策「結婚・妊娠・出産への支援」の一番始めだから違和感がある。施策の下の方に変えてはどうか。

委員 基本構想には、7つの基本的な課題や多治見らしさがあるが、関連性はどのようか。

重点施策がどれかわかりにくい。

具体的な施策をホームページで検索することはできるか。

事務局 多治見らしさは 20、30 年先と長い期間を考え、基本方針が 8 年間の期間であるため、基本方針の方がより濃く基本計画事業に表現させる。

各政策の柱の施策順は基本構想の順になっている。

重点施策の見せ方は、今後検討する。

ホームページには、基本計画事業だけでなく、この基本計画事業から具体的に行う事業を実行計画として作成し、記載する。

会長 多治見らしさと基本計画事業をつなぐ事業を明らかにしてほしい。

政策の柱 ②健康で元気に暮らせるまちづくり

事務局 基本計画（素案）政策の柱②について、資料 3、4 を用い事務局から説明

- 会長 T G K 48 プロジェクトは何か。
- 事務局 元気な高齢者の活動である。今までは、P R 活動を主にしてきたが、今後は、地域へ元気を広めていく事業展開を考えている。
- 会長 わかりにくい単語などには注釈をつけるか。
- 事務局 注釈をつける予定である。
- 委員 政策の柱②施策「高齢者支援」と政策の柱③施策「女性・高齢者の活躍支援」の違いは何か。
- 事務局 政策の柱②は福祉的な事業を、政策の柱③は雇用面などの事業である。
- 委員 50 歳になった時に無料で受けられる検診票が届いた。初めて知ったが P R を行う必要があるのではないか。
- 事務局 5 月号の広報や回覧板、ホームページなどで周知を行っている。
職場で検診が受けられない人にぜひ受診していただきたいので P R を引き続き行う。
- 会長 基本計画事業「たじみ健康ハッピープランに基づき、まち全体での健康づくりを推進し、健康寿命の延伸を目指します」は他の基本計画事業と比べ委ねているところがあるがどうか。
- 事務局 個別計画は総合計画と整合をとることとされているため、個別計画がある事業は個別計画に委ねる表現とした。ただし、特に推進したい事業は別で基本計画を作っている。
たじみ健康ハッピープランに T G K 48 プロジェクトは含まれるが、今後力を入れるため、別で基本計画事業を作っている。
- 委員 T G K 48 プロジェクトは市の元気の象徴ですばらしい。ただし、ダンスしがなく、その他のプロジェクトは考えていないか。
- 事務局 たじみ健康ハッピープランの中で、健康づくり推進員によるウォーキングや食生活改善協議会では食生活の改善に向けた取組を行っている。
生きがいづくりとして、政策の柱⑤の市民活動がある。
- 委員 施策の並び順は変更できないか。
T G K 48 プロジェクトだけ基本計画事業が具体的過ぎないか。
- 事務局 施策の並び順は基本構想の並び順であるため、この順としたい。
T G K 48 プロジェクトは特に推進したい事業である。

政策の柱 ③にぎわいと活力のあるまちづくり

- 事務局 基本計画（素案）政策の柱③について、資料 3、4 を用い事務局から説明
- 委員 施策「女性・高齢者の活躍支援」基本計画事業「高齢者が働き続け、活躍できる社会の実現に向け、様々な事業者と連携した取組を推進します」の担当課は、高齢福祉課で正しいか。
- 事務局 シルバー人材センターへの支援を想定しているため高齢福祉課を担当課

としている。ただし、関係する課に、産業観光課などが加わる。

会長 「様々な事業者」とあるので、産業観光課という意見もあるが、現在の支援制度などの関係もある。過渡期なので、このような状況である。

会長 施策「地場産業の支援」にデザインの高度化や高付加価値化はないか。
事務局 基本計画「安全・安心で魅力的な陶磁器の製造を支援します」の「魅力的な陶磁器」がデザインの高度化や高付加価値化を想定している。

委員 基本計画「安全・安心で魅力的な陶磁器の製造を支援します」は、誰にどのようなサービスを提供しているのか。

事務局 陶磁器意匠研究所が行う事業であり、陶磁器業界では食器の鉛の溶解分析や、タイル組合とクールアイランド対策の機能性タイルの開発などを行っている。

会長 基本計画「世界に誇る美濃焼の中心都市として国際陶磁器フェスティバルを開催し、その魅力を発信します」が施策「地場産業の支援」の最後なのが疑問である。

会長 政策の柱③の最後に施策「文化・芸術の振興」があるのが疑問である。

委員 施策「文化・芸術の振興」に美濃焼がない。

事務局 陶磁器文化は施策「地場産業の支援」基本計画「産業と文化の両面から美濃焼を活性化する「人財」を育成します」に含まれる。

委員 文化・芸術をにぎわいにつなげられる方法はないか。

会長 多治見らしさなどの視点から並び順は再考できないか。

委員 基本計画「産業と文化の両面から美濃焼を活性化する「人財」を育成します」に文化としての美濃焼があるのは評価できる。このような視点が基本計画にちりばめられないか。

事務局 施策「文化・芸術の振興」は、市民文化・伝統文化であり、陶磁器文化は施策「地場産業の振興」に整理した。

政策の柱 ④安全・安心で快適に練られるまちづくり

事務局 基本計画（素案）政策の柱④について、資料3、4を用い事務局から説明

委員 ひとの“わ”の「地域で主体となる「人財」を中心に集まる」とは何を想定しているか。

事務局 地域にいる地域内交通を主体となってやっていただける方を想定している。

委員 基本計画のどこを指しているか。

事務局 基本計画「ネットワーク型コンパクトシティの形成に向け、公共交通のネットワークを強化します」を指している。

委員 公共交通のネットワークと地域内交通は別ではないか。

事務局 公共交通のネットワークには、路線バス、コミュニティバス、地域内交

通、鉄道などを総称して表現している。

会長 わかりにくいいため、ひとの“わ”と基本計画の再考を。

委員 風の道構想とは何か。

事務局 平成8年につくられた、四方が山々に囲まれた地理的特性を生かし、山々の冷風を市街地へ送り込むため、川や幹線道路などを「風の道」として緑化を進める構想である。

委員 ネットワーク型コンパクトシティとは何か。

事務局 商業施設、文化・娯楽施設、行政機能などの都市機能を中心市街地に集約させるとともに、郊外地域と中心市街地を結ぶバス等の公共交通を充実させる都市構造である。

委員 風景づくりアドバイザー制度とは何か。

事務局 美しい風景づくりのため、専門家が幅広くアドバイスをを行う制度である。

委員 景観サポーターとは何か。

事務局 地域の風景づくりに興味がある方や積極的に風景づくり活動を行う団体及びリーダーである。

会長 注釈を付けないと分からない。

委員 施策「定住促進」基本計画事業「定住を促進するため、リフォームや取壊しの支援などにより空き家などの住宅ストックの利活用を促します」の、空き家に対するリフォームや取壊しの支援とは何か。

事務局 市外から新たに転入される方で、空き家をリフォームしたり、取壊して更地にして新築する場合にそれらの資金の一部補助を行うものである。

委員 転入促進にはなるが、転出抑制にはならないのではないかな。

空き家のリフォームや取壊しの補助を始めると、所有者と行政の管理の境目が不明確になるのではないかな。

政策の柱 ⑤市民が互いに助け合い学び合うまちづくり

事務局 基本計画（素案）政策の柱⑤6について、資料3、4を用い事務局から説明

委員 市民活動交流支援センター（通称「ポルト」）に相談に行ったが、とても親切で、他の団体の活動がわかり、自分の活動の刺激となった。

施策「市民活動支援」基本計画事業「地域住民や各種団体と連携し、地域力向上を図る活動を支援します」の担当課は高齢福祉課で正しいかな。

事務局 既に活発に行われている根本地区地域力向上推進会議の立上げを支援したのが高齢福祉課であり、同様の活動の窓口となっている。

政策の柱 政策を実現させる行財政運営

委員 行財政運営が厳しくなっていくなか、どのように対応していくかな。

事務局 施策「健全な行財政運営」で合併算定替や人口減少による税収減に対応した行財政運営を行っていく。

施策「行政の改革」で支出を減らす行政改革を行っていく。

会長 ひとの“わ”の前に、厳しい状況を足していいのでは。

3 その他

会長 時間となったので会議は終了とするが、意見が言いきれなかった委員は8月中旬までに事務局に意見を提出していただきたい。

事務局 第9回多治見市総合計画策定市民委員会は9月3日（木）に開催する。

<会議終了>